

# ふらっとふらわーず ニュース

- 季節の花：・クチナシ  
・アガパンサス
- コラム：緑のカーテン
- 情報：花のイベント

- 発行：ふらっとふらわーず
- 2020夏号：第31号
- 連絡先：042-315-4158
- 編集委員：内田信子

## 季節の花

### ★【クチナシ】

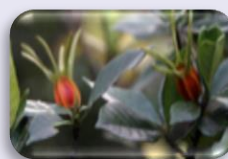
アカネ科 / クチナシ属

クチナシは梅雨どきに、大型で純白の6弁花を咲かせて、シンチヨウゲ、キンモクセイと並んで**三大香木**として親しまれるほど、**甘い香り**を漂わせます。秋には橙赤色の**果実**をつけます。

庭木としてよく栽培されているクチナシは、大型の花で八重咲きの**オオヤエクチナシ**（別名ヤエクチナシ、英名ガーデンア）が多く、こちらは、花は豪華ですが実はつけません。近縁種に樹高30〜40cmの低木で、地表を這うように枝が横に広がる**コクチナシ**などがあります。学名のGardenia（ガーデニア）はアカネ属の総称で、18世紀の医師兼植物学者**アレキサンダーガーデン**が初めてクチナシを記録したという功績から、彼の名前にちなんでつけられました。英国ではジャスミンのような香りを放つことから、「ケープジャスミン」(Cape Jasmine)とも呼ばれています。

クチナシという和名の由来には諸説あります。クチナシの**実が裂けない**ことから「**口無し**」が転じた説、鶯が鳥のくちばしで果実を裂いてみて「**口無し**」となった説、蛇を意味するクチナシか食べない実をつけることから「クチナワナシ」が転じた、この3説が有力な説とされています。特に「口無し」が転じたとする説は、「山吹の花色衣 主や誰 問へど 答へず くちなし」として、秋が過ぎ、冬が来ても一向に口を開けない」という和歌が由来の原点となっており、**最も有力な説**とされています。

クチナシの花が放つ**甘いエキソチックな香り**には、**リラックス効果**などがあります。また、香りのファンが多いことから、シャネルなど有名メーカーからはクチナシの香りの**香水**がいくつも発売されています。しかし、花から香料を得ることがほとんどできないことから、香料素材としてはガーデニア香の調合品がよく使用されます。漢方として用いられるクチナシの実の「**山梔子(さんし)**」は消炎、止血、鎮静、利尿作用、不眠、精神不安などに効果があるとされ、江戸時代には、疲労回復効果や防腐効果が高いことから、**東海道**を行き交う旅人が好んで食べていたという歴史もあります。果実は**黄色の染料**として利用され、着色料としては、今でも**栗きんとん**やゼリー、**たぐあん**などの色付けに使用されています。



花言葉：「私は幸せ者」「優雅」「洗練」(花言葉事典)  
(参考：趣味の園芸、ホルティ、)

### ★【アガパンサス】

ムラサキクンシラン科 / アガパンサス属

アガパンサスは**さわやかな涼感**のある花を多数咲かせ、**立ち姿が優雅で美しく**、厚みのある革質の葉が茂る様子には力強さも感じられます。**南アフリカ**に10〜20種ほどの原種が自生し、交配などにより300以上の園芸品種が育成されています。花名は、ギリシャ語で愛を意味する「**agape** (アガペー)」と、花を意味する「**anthos** (アンサス)」が合わさって付けられています。アガパンサスが日本に渡ってきたのは**明治時代中頃**ですが、詳しい経緯は定かではありません。性質が強く、植えっぱなしでほとんど手がからないので、公園などの花壇やコンテナの植え込みに利用され、また切り花としてフラワーアレンジメントにも使われています。

草丈、株張りともに1m以上になる**大型種**から、小鉢でも育てられる草丈30cmくらいの**小型種**まであり、花形も花筒の短い**盃状**のものから細長い花のもの、**星形**のように切れ込みの深いものや、**ラッパ状**の花形など、バラエティーに富んでいます。性質としては、周年葉が茂る常緑性のもので、冬期は地上部の葉が枯れて休眠する落葉種とがあり、その中間のタイプの品種もあります。

**栽培環境**：日当たりと水はけのよいところが適します。  
**水やり**：鉢植えは、用土が乾いてからたっぷり与えます。  
**肥料**：鉢植えは、春と秋に月1回の置き肥**ふやし方**：春と秋に株分けで増やします。  
**花茎切り**：花が終わったら花茎を切り取りますが、タネをとりたいときは必要な分だけ残します。

花言葉：「恋の訪れ」「知的な装い」「実直」(花言葉事典)  
(参考：趣味の園芸)



## コラム 緑のカーテン 4つの効果

緑のカーテンとは、ツル性植物であるゴーヤや朝顔などを窓の外側に育て、室内に入る夏の**日差しを遮る**ことで、室内での体感温度を抑え、冷房にかかる電気代を抑制して電気にかかるとCO2の排出を抑えようという、**低炭素社会**へのつながるものです。緑のカーテンの歴史は、**江戸時代**まで遡るといわれます。



江戸長屋の軒先に、**シロ縄でアサガオ**を吊るし、品質改良を楽しむと同時に、**涼を得た**ということでした。また、日本三大随筆と言われる徒然草(吉田兼好著)には「家のつくりやうは夏を旨とすべし」とあり、日本では**僅かな涼を得るための努力**を、西暦1300年から行っていることが記述されています。

緑のカーテンには単なるカーテン以上のさまざまなメリットがあります。**1**、適期にタネをまいたり苗を植えつけたりすれば、ぐんぐんつるが伸びて葉が茂り、真夏にはテラスやベランダを覆う葉っぱのシェードになり、**夏の強い直射日光をカット**します。**2**、外部からの視線も葉がやわらかに遮ってくれるので、普通のカーテン同様、**目隠しの役割**も果たします。**3**、植物は、根から吸い上げた水を葉から蒸散させて、自分の温度が上がらないようにしています。そのため、蒸散作用が無い「すだれ」などに比べて放射熱がぐっと少なく、**周囲の気温はわずかに下がります**。**4**、蒸散によって気温が下がった**葉の間を通り抜けてくる風**も、私たちに涼感をもたらしてくれます。

緑のカーテンの管理のポイントには、苗の生育初期は、**株にしっかりと日光を当て**、つるが伸びてきたら株元よりも、**葉に日が当たるように**します。なお、盛夏になったら、**プランター自体に直射日光が当たらないように**すると、必要以上の乾燥や、暑さで根が傷むのを防ぐことができます。短期間に成長するタイプが多いので、**肥料切れさせない**ように育てることが大切です。気温が高くなればなるほど、活発に蒸散が行われるため**土の表面が乾いたら**、たっぷり水を与えます。晩夏になると**台風**が発生しますので、支柱が倒れたり折れたりすることがあります。そこで、**ネットを取り外せるように**設置しておくのが便利です。最近では、定番のゴーヤやアサガオの他に、パッションフルーツやヘチマ、シカクマメなども人気です。

## 情報

(事前に確認ください)

- 快適ウォーキング「花さん歩」蓮華シヨウマ 8月6日(木) 国営武蔵丘陵森林公園
- 自然観察ツアー2020 6月16日(火)より毎週火曜日 国営昭和記念公園
- ソレイユの丘ヒコマル 7月中旬〜8月下旬 長井海の手公園 ソレイユの丘 早朝観蓮会 三溪園
- 7月18日(土)〜8月2日(日) 土日祝日のみ

